

審査の結果の要旨

氏名 クラチャー シリカン

近年、タイでは知識産業化への脱却を目指して、クリエイティブ産業の振興が重要な課題となっている。このような背景のもとで、本研究は、クリエイティブ産業の集積が進む首都バンコクを対象としてクリエイティブ産業の出現と新興マーケットにおける制度環境と空間的集積に関する分析を行ったものである。クリエイティブ産業の空間的集積に関する研究は、近年、先進国を中心に蓄積が進んでいるが中進国における研究の蓄積は極めて限られており、代表的な中進国であるタイを対象として、都市レベルでのクリエイティブ産業の空間的集積の実態と、国レベル、都市レベル、地区レベルでのクリエイティブ産業振興に関わるガバナンスが集積に及ぼす影響に関して初めて論じた本研究の意義ならびに新規性はきわめて高い。

上記のような背景のもとで、本研究の主要な目的は下記の3点である。

- (1) バンコクを対象としてクリエイティブ産業の空間的集積の実態とその要因を明らかにすること。
- (2) 国レベルならびにクリエイティブ産業振興政策の効果を分析すること。
- (3) 振興マーケット諸国におけるクリエイティブ産業集積に関する政策的な示唆を得ること。

本研究の構成は以下の通りである。研究の背景と目的について記述した第1章に続いて、第2章では、クリエイティブ産業の集積に関する既往研究、集積に関する制度環境の分析ととりわけ経路依存性についての既往研究、都市産業の空間的集積に関する既往研究についてのレビューを行い、本研究の意義と新規性（上述）について論じている。第3章では研究方法が詳説されているが、とりわけ、本研究が用いたバンコクの事業所データは、著者自らが住所データをGISデータに接続して初めて空間的集積に関する分析に用いたものであり、この点にも本研究の新規性が認められる。第4章では、タイ国ならびにバンコク都におけるクリエイティブ産業振興に関する制度的環境の歴史的発展を経路依存性の観点から分析し、その特質を明らかにしている。第5章では、上述したように独自に構築したクリエイティブ産業の立地に関する空間情報を用いて、その空間的集積の実態と都市レベルからみた集積要因に関する分析を行った。第6章では、第5章で抽出された空間的集積のうち、特徴的な4地区を抽出し、独自に開発したスマホベースの空間記録ツールを用いて地区レベルでの詳細な都市的環境の調査と分析、事業者に対するフォーカス・グループ分析を通じた立地要因分析を行っている。第7章で、分析結果の総合的な知見をまとめるとともに、今後の政策に関する示唆を論じている。

本研究の主要な結果をまとめると以下の通りである。

(1) タイ国におけるクリエイティブ産業振興政策は経路依存性の観点から3つのクリエイティブな分岐点があり、空間的集積とも一定の対応があるが、国レベルでのトップダウン的政策であり、自治体レベル、地区レベルでのガバナンスとの連携が不足していることから、空間的集積に対するインパクトは限られている。

(2) バンコクにおけるクリエイティブ産業の空間的集積は、相互に関係性の深い複数業種間の共集積 (co-agglomeration) によって特徴付けられ、Shaw Business、Lifestyle 産業、Craft & Design、Creative Fabrication、CAD Studio、Jewellery 産業の4つの空間的集積に分類される。

(3) 空間的には、都市中心部の伝統的クリエイティブ産業の集積と、都市フリンジ部での自動車依存型で集積が進む、新しいクリエイティブ産業の間で立地に違いがあり、先進国都市における空間的集積との違いがあるが、この点は公共交通インフラの発展状況の違いが大きな要因となっていることが示唆される。

(4) 先進国都市における研究結果と同様、新しいクリエイティブ産業の集積は、都市的環境が大きな要因となっていることがわかった。

(5) クリエイティブ産業振興にあたっては、産業的エコシステムの構築、ボトムアップ的な施策、地区ベースでの計画策定が重要である。

本研究は、上記のように、独自の理論枠組みとデータベース構築と詳細な実証分析のもとで、典型的な新興マーケット国であるタイ国バンコクを対象として、クリエイティブ産業の空間的集積の実態と政策効果に関する詳細な分析をおこなった新規性のきわめて高い研究であり、学術的に優れた価値を有していると同時にきわめて有益な政策的含意を提示するものとなっている。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。